

# WORK LIFE BALANCE

ワーク・ライフ・バランス  
実践企業インタビュー

トヨタ自動車株式会社 FC開発本部  
FC技術部機能設計室FCセル設計グループ長

後藤 荘吾さん(40歳)

## 休暇制度を利用した 地域活動への新たな一歩 ～合理性と優しさの融合～

大企業ではすでにボランティア休暇などの制度は整備されつつある。しかし残念ながらあまり活用されていないのが実情だ。そんな中、トヨタ自動車新たな挑戦を始めている。広義の利益を視野に入れた企業活動を行うことが、企業として評価を得る時代へと転換しつつあるが、同社は自己研鑽休暇制度(最大1ヶ月取得可能)を導入し、仕事から離れた時間を人材育成に活用している。今年7月の1ヶ月間同休暇を取得して、ゴジカラ村(関連P6)にて多様なボランティアを経験し、さわやか福祉財団法人間力再生プロジェクトの体験プログラム企画運営も担当してくれた後藤荘吾さんを追ってみた。



後藤 荘吾(ごとう そうご)さん

1993年トヨタ自動車入社。専門分野は物質工学(金属)。希土類系アモルファス合金の構造と水素吸蔵効果についての研究。現在の仕事は燃料電池セルの製品設計。車両用燃料電池のセル構造を設計するグループのまとめ役を担当している。